

【ピアッシング（ピアス穴あけ）を受けられる患者さんへ】

この説明書は、ピアッシングについて説明したものです。わからないことがありましたら、お尋ねください。処置を受けられる場合は「同意書」に署名をお願いいたします。未成年の場合は保護者の同意が必要となります。

当日はご自身でピアスを持参してください。

<持参するピアスについて>

ファーストピアスは1か月ほどつけたままとなります。金属アレルギーになりにくく、シャワーで流すことができる素材（ヘッド（装飾部分）、ポスト（軸・1.8G以上のもの）、キャッチがいずれもサージカルステンレス、純チタン）のものが望ましいです。

ヘッドが小さすぎるとピアスの穴に埋没してしまうことがあるため、軸より少し大きめのものを選びましょう。

方法

・局所麻酔をして、注射針で耳たぶに穴をあけ、ピアスを通します。

副作用

- ① 局所麻酔による痛みがあります。過去に痛みにより気を失った事がある方は申し出てください。
- ② 局所麻酔でアレルギーを起こしたことがある方には行えません。
- ③ 針を刺した所から出血することがあります。血が止まりにくくなるお薬を飲んでいる方は申し出てください。
- ④ ピアスの穴あけ後、化膿する場合があります。
- ⑤ ピアスの使用をきっかけにして金属アレルギーになる可能性があります。
- ⑥ ピアス穴周囲の皮膚が硬くしこりになることがあります（ピアスケロイド）。
- ⑦ 耳たぶの形状や性質上、ピアスを開ける際ご希望の位置と誤差が生じる場合があります。

この処置について理解し、ピアッシングを受けることに同意します。

年 月 日

氏名

（未成年の場合） 保護者氏名

【ピアッシング（ピアス穴あけ）のアフターケア】

ピアスの穴が完全に固まるのに普通は1年、耳たぶの厚い人で1年半かかります。ピアス穴が完成するまでは就寝時もピアスをつけたままにしてください。その間のケアの説明をします。

1) 日常のケア

(ア)洗髪するときはピアスはずさず、耳たぶ、ピアスについている汚れをきれいにシャワーの水で洗い流すこと。

(イ)風呂上がりは、しっかり拭いて乾かすこと。

以上をきちんと行えば、耳たぶやピアスの消毒は必要ありません。ピアスを回して癒着しないようにする必要もありません。

2) ピアス交換時の注意（ピアッシング後1か月以上経過してから交換しましょう）

(ア)ピアスヘッドを指で持ちながら、裏のキャッチ（留め具）を後ろに引っぱりはずす。

(イ)耳たぶの裏に出ているポスト（ピアスの軸）の汚れを拭きとってから、ピアスはずす。